会 議 結 果 報 告 書

● 会議名：令和７年度第１回大野城市交通活性化協議会
● 日時：令和７年８月19日（木）10：00～11：40
● 場所：大野城市役所　本館４階　全員協議会室
● 出席者：委員14人中　出席14人
　　事務局４人
● 会議要旨：下記のとおり

説明事項

1　大野城市地域公共交通計画の素案について

説明概要

大野城市地域公共交通計画案について、第１章から第６章までの説明を行った。

質疑・意見等

・路線バス乗降調査について令和５年度に実施しているが、昨年の10月に一部ルート変更などが行われており、調査当時と状況が変わっているのではないか。（委員）

→インフラ整備に伴うルート変更など調査当時と状況が変わっているのは承知しているが、令和５年度に市民アンケートやコミュニティバスの利用者アンケート及び乗降調査と時期を合わせて行っているものであり、このままの記載でいきたいと考えている。（事務局）

・P44に路線バスの乗降人数の記載があるが、乗車人数と降車人数に大きな差があるバス停がある。行きはバスで帰りは家族が送迎しているなど、行きと帰りで違う交通手段を使っているということだと思うが、何か要因として考えられることはあるか。（委員）

→他のエリアでも同様の状況になっているところはあり、推測にはなるが、先ほど言われたように送迎のどちらかは自家用車で行っていたり、行きはバスの時間が合わないので別の交通手段を使っていたりすることなどが考えられる。（委員）

・先ほど春日原への乗り入れの話があったが、仲畑地区は交通の利便性が悪く、桜並木駅への乗り入れについても検討できないか。（委員）

→桜並木駅への乗り入れは現在具体的に検討しているところである。計画策定までにある程度目途をつけたいと考えているので、計画には記載していない。（事務局）

・南地区については、デマンド型交通を導入するという前提があるということでよいか。（委員）

→この場でデマンド型交通を導入すると確約はできないが、現在地元と協議を行っており、運行方式等については未定なものの、デマンドを含めて新たな交通手段を入れる方向で検討している状況である。（事務局）

・まどか号の値上げは行うという認識で良いか。（委員）

→運行経費が増大する中で、まどか号の運賃100円というのは限界に来ていると考えているので、値上げを行いたいと強く考えている。ただし、単純に値上げを行うだけではなく、ルートの見直しや割引などのサービス向上とセットで行いたいと考えている。（事務局）

・P2の「計画策定の背景と目的」の中で、地区コミュニティごとに居住機能や都市機能を集約したコンパクトなまちづくりとあるが、市民の方には意味がわかりにくいと思う。市の考えるコンパクトシティについての記載をした方が良いのではないか。（委員）

→そのように対応する。（事務局）

・P4の「計画の対象」について、地域公共交通と高齢者移動支援事業等の福祉交通は目的が異なると思うので、これらを合わせて考えていくのか、それとも別々に考えていくのか教えてもらいたい。（委員）

→計画の対象としてタクシーや自転車など様々な交通モードがあり、それらを含めて交通ネットワークを構築していくということを示しているので、そこにご意見いただいた目的を少し詳しく記載して交通ネットワークを構築するというような表記にする。（事務局）

・福祉有償運送として訪問型サービスＤというサービスがあるが、福祉施設の車を利用して送迎の合間に使うということで利用者が少ない状況である。社会福祉協議会では無料で貸しているハンディキャブというのがあり、車いすの方も乗れるし、リフトカーではストレッチャ

ーのまま乗れる。少しずつ利用者が多くなってきたが、様々な機会に活用してもらえればと思う。（委員）
→交通モードには様々な目的があるので、新たな交通モードが追加になれば、当然交通ネットワークの中に組み込んで再編に取り組んでいきたい。（事務局）
・P72 にデマンド型交通の導入等についての記載があるが、もっと具体的に運行方法やシステムについて記載した方が良いのではないか。（委員）
→運行方法等については、これから地元との協議の中で具体的に決めていきたいと考えているので、このままの記載でいきたいと考えている。（事務局）
・今後のスケジュールについて、本計画についての地区別説明会はしないのか。（委員）
→都市計画マスタープランを策定する際には、土地利用に関してそれぞれの地区にお住まいの方々の意見を反映させるため、地区別で説明会をした。交通政策については、地区で完結しておらず市内全体で考えていかないといけないということで、この交通活性化協議会で議論をしていただいており、地区別説明会については考えていない。（事務局）
・デマンド型導入について、南地区では導入に向けて協議をしているということだが、東地区もボランティア運転手の高齢化などにより高齢者移動支援事業の状況が厳しくなってきていることから、東地区とも協議をしてもらいたい。（委員）
→デマンドの導入について、南地区は個別に協議させていただいているが、今の意見を参考に地域行政センター統括課とも協議しながら検討する。（事務局）
・P27 のアンケートの結果の主な利用交通手段のところで、自動車が突出して多くなっているがその理由はわかるか。（委員）
→本市は近隣と比べて、鉄道・路線バス・コミバス等があり相対的には交通の便が良いと考えている。あくまで推測になるが、単純に車を持っている方が運転できるから車を使用しているということかと思う。（事務局）
⇒自分は東地区に住んでいるが交通の利便性が高いとは思っていない。自動車の利用が多いというのは、仕方なく車を使っていると思っている。断定的な書き方でなくても良いがそのあたりの分析についてコメントを入れてもらえればと思う。（委員）
→交通政策の最終的な目標はマイカー利用から公共交通に移行してもらうということなので、現状として考えられることについてコメントを入れるなどの対応をする。
（事務局）
・６章の施策について、実施期間の部分が空欄になっているのは%等の数値が入るということか。（委員）
→数値については７章の評価指標で記載予定である。実施期間の部分については、工程ごとに具体的なスケジュールを表記していく予定としている。（事務局）
・P3 で立地適正化計画が策定予定となっている。馴染みが無いがどのようなものか。（委員）
→立地適正化計画は今年度から策定を進めていて２年かけて策定する。都市計画マスタープランの下位計画で具体的な土地利用に関する課題を解決するための計画になる。（事務局）
⇒コンパクトシティの実現となっているがすでに大野城市はコンパクトシティなのではないか。（委員）
→平成 26 年頃から国から策定するように通知が出されていたが、大野城市はすでにコンパクトな地域であったため策定の予定は無かった。しかし、能登半島地震等の災害後のインフラ復旧からも分かるように計画の策定がほぼ義務付のような形になっている。また、策定が補助金交付の要件になっているため、今回策定を進めている。大きく市内の土地利用について劇的に変化する内容ではない。
・コミバスの運行について P2 に委託と表記されている。委託の場合は事業主が大野城市になるため違うのではないのか。（委員）
→委員の指摘のとおりのため修正する。（事務局）
・にぎわいづくり協議会では西鉄の高架下について西鉄とにぎわいづくりを取り組んでいる。中央地区というのは交通網が良くない。交通計画内では P4 でシェアサイクルを対象とし、P80 ではシェアサイクルの導入実験を踏まえてとなっている。シェアサイクルが福岡市のように普及すれば高架下に若い人達が集まるきっかけになるので、交通計画の中で交通ネットワークの一つとして盛り込んでほしい。（委員）
→交通計画の P4 で自転車も対象としている。また、現在シェアサイクルとキックボードの実証実験を Luup という事業者と契約して行っているので、交通ネットワークの一部として盛り込む方向で考えていきたい。（事務局）
・中央地区の話が出たが、南地区、東地区にもコンパクトシティを作り、交通網を発展させて鉄

道駅へ接続するようにしてもらいたい。（委員）
・P33 公共交通に対する満足度・重要度で近隣市コミュニティバス広域連携があるが、これは春日市、太宰府市に結節ということか。（委員）
→現在福岡市の桜並木駅、春日市の春日原駅に乗り入れする形で検討を進めている。（事務局）
・以前乙金交差点から井の口、中交差点から釜蓋に路線バスが走っていた。
中交差点から JR 大野城駅まで回って走る路線ができたら、人の流れが変わるのではないか。（委員）
→今後ルートの最適化をする際に意見を踏まえて検討していきたい。（事務局）
・デマンド交通についてだが、福岡市内でチョイソコふくおか、県内でのるーとが走っているが、運行方式がどのタイプか仕分けをしているか。
まどか号は大野城市内をくまなく走っているが、チョイソコは路線バスで利用率の上がらない地域に着目して、ごみステーション等を停留所として各自治体が取り組んでいるものである。デマンド交通を導入している福岡エリアの情報を共有してほしい。（委員）
→P72 のデマンド型交通の内容については導入自治体、運行方式をより詳しく記載したい。（事務局）
・Luup については交通事故がとても多い。コミュニティバスの運転手を含めて危険な場面が増える可能性がある。担当部署はどこになるのか。（委員）
→Luup の導入についてはプロモーション推進課で行っている。デメリットについては共有する。（事務局）
・西鉄春日原駅へのまどか号の乗り入れに期待している。（委員）
・大野北小学校校区は転勤族が多い。私も単身赴任をしていて飛行機で戻る予定である。JR 南福岡駅から福岡空港に向かう路線バスがあるが、始発の時間を繰り上げて春日原駅を経由して運行すれば利便性は上がるのではないか。（委員）
→現在運転手不足が深刻な問題で、新たなルート、ルートの変更については現在の利用状況と新たな需要を調査した上で慎重に検討していきたい。（委員）
・１点確認したい。７章は６章の内容が固まってからとのことだが、どのタイミングで仕上がるのか。２月の素案完成までに活性化協議会で内容を確認することができるのか。他自治体で７章の目標設定に関して多くの意見が出ていた。（会長）
→７章については、今日の協議会、来月の地域公共交通会議が終わった後から作成を行うが、評価指標に対して意見が出るとのことなので、活性化協議会の開催について書面開催含めて考えたい。（事務局）
・書面開催で良いのか。（委員）
→開催方法等については別途調整する。（事務局長）

２．その他
・現在まどか号の仲畑ルートで桜並木駅乗り入れについて関係者と協議を進めている。この内容についても今年度活性化協議会を開催予定であるので日時、開催方法が決まったら連絡する。先ほど評価指標についても意見が多数出るとのことだったので活性化協議会の議題としたい。（事務局）